

第2期能代市国民健康保険

保健事業実施計画(データヘルス計画) (平成30年度～令和5年度) 中間評価報告書



令和3年3月
能代市

目次

第1章 中間評価に当たって		
	第1節 中間評価の目的	1
	第2節 第2期能代市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の概要	1
第2章 中間評価		
	第1節 中間評価の方法	
	第1項 中間評価の実施方法	3
	第2項 評価等の考え方	3
	第2節 中間評価	
	第1項 基本情報	4
	第2項 医療受診の状況	5
	第3項 死因の状況	6
	第4項 介護保険の状況	7
	第5項 平均自立期間・平均余命の状況	9
	第6項 医療費等の分析	10
	第7項 特定健康診査結果の分析	28
	第8項 ジェネリック医薬品の普及状況	31
	第9項 健康課題にかかる目標の評価	32
	第10項 個別保健事業の実施状況等	33
第3章 第2期計画後半の推進について		
	第1節 計画の推進に向けて	41
	第2節 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について	41

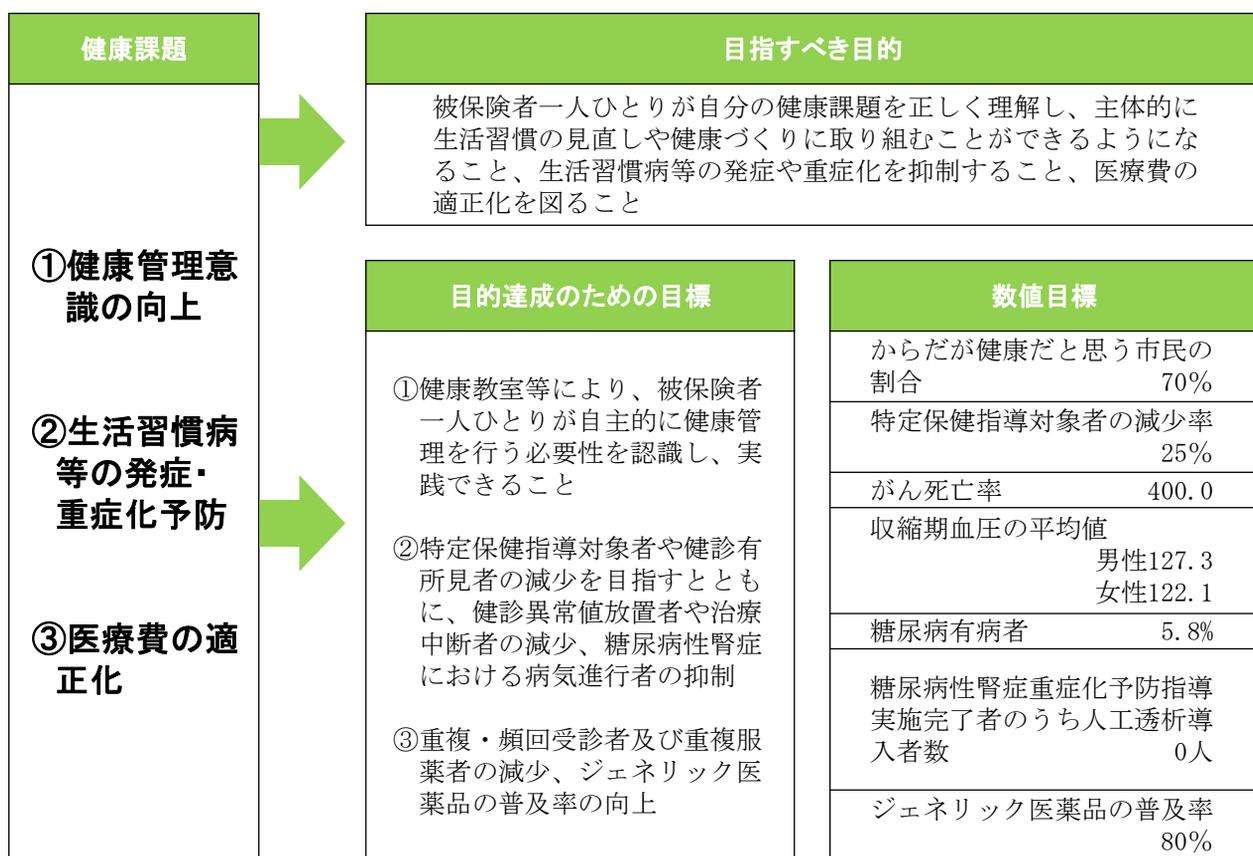
第1節 中間評価の目的

能代市では、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針に基づき、被保険者の健康の保持増進を図り、効果的かつ効率的な保健事業の実施及び評価を行うため、平成29年3月、能代市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)を策定し、その実施状況を踏まえ、さらに推進するため、平成30年3月、第2期能代市国民健康保険保健事業実施計画(以下、第2期計画という)を策定しました。

第2期計画の中間年度となる令和2年度において、各目標の達成状況やこれまでの取組み等について検証し、目的実現のための課題や今後の取組みの方向性を明らかにすることを目的に、中間評価を行います。

第2節 第2期能代市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の概要

前期計画の評価及び健康・医療情報等の分析により3つの保健課題が明確化され、これらの健康課題に対応して、第2期計画の目指すべき目的や数値目標を設定しました。



そして、実施する保健事業について、費用対効果、対象者の規模、既存の保健事業の実施状況等を踏まえ、次のとおり選定しました。

健康課題	対策	事業
課題① 健康管理意識の向上	健康教室を開催するなど、個々の被保険者の自主的な健康増進の取り組みを支援します。また、若い世代から健康に関心を持つ人を増やすため、健康教育を実施します。	健康相談
		健康教育
課題② 生活習慣病等の発症・重症化予防	特定健診、特定保健指導の実施率の向上対策、健診異常値放置者、治療中断者の受診勧奨を行うとともに、糖尿病性腎症重症化予防のための保健指導を行います。また、がん検診助成、減塩指導等高血圧予防の啓発も行います。	特定健診事業
		特定健診対策事業
		特定保健指導事業
		健康診査助成事業
		健診異常値放置者受診勧奨事業
		栄養学習
		禁煙教室
		糖尿病性腎症重症化予防事業
		生活習慣病治療中断者受診勧奨事業
課題③ 医療費の適正化	頻回受診者等への適正な受診行動を促す指導を保健師等により実施します。また、ジェネリック医薬品への切り替えを促します。	受診行動適正化指導事業（重複受診、頻回受診、重複服薬）
		ジェネリック医薬品差額通知事業

第1節 中間評価の方法

第1項 中間評価の実施方法

第2期計画の前半である、平成30年度から令和2年度までについて、計画策定時に実施した医療情報の分析等の経年変化の状況確認等を行うとともに、各目標の達成状況やこれまで実施した個別の保健事業の取組み等について検証し、評価を実施します。

この評価に当たっては、個別の保健事業の評価を基に、計画全体の評価を行い、第2期計画の目的実現のための課題を整理し、効果的かつ効率的な保健事業を実施できるよう事業の方向性の検討を行います。

また、国保部門が主体となり、市民の健康の保持増進に関わる衛生部門等とも十分に連携しながら、評価を実施します。

また、本報告書は、能代市国民健康保険運営協議会の場を通じ、医師・歯科医師・薬剤師・他保険者等外部有識者のご意見を伺い、秋田県国民健康保険団体連合会が設置している保健事業支援・評価委員会の助言をいただき作成します。

第2項 評価等の考え方

目標値に対する評価及び事業の方向性の考え方は、次のとおりとします。

◎目標値に対する評価の考え方

評価区分	評価内容
5	目標に達している
4	目標に達していないが、改善傾向にある
3	変わらない
2	悪化している
1	評価できない

◎計画後半に向けての事業の方向性の考え方

方向性	方向性内容
維持	事業を維持する
廃止	事業を廃止する
新規	新たに事業を行う

第2節 中間評価

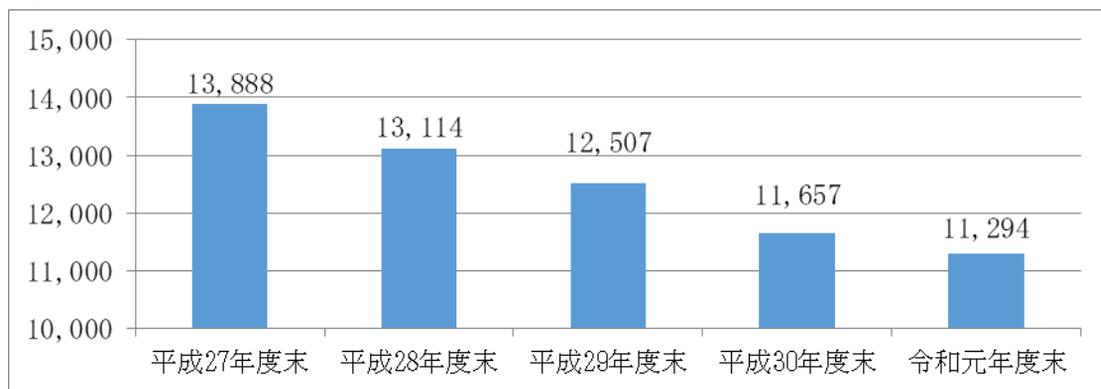
第1項 基本情報

◎被保険者の状況

人口減等により、国保被保険者数の減少が続いています。

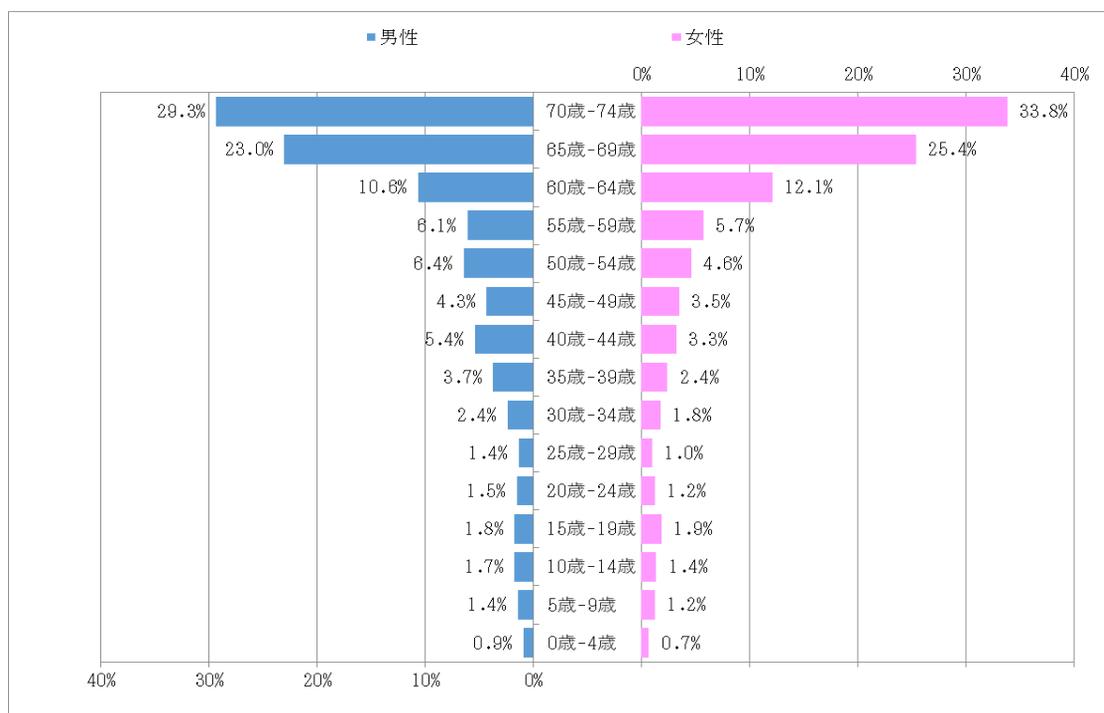
	人口総数	高齢化率 (65歳以上)	国保 被保険者数	国保加入率	国保被保険者 平均年齢
	9月30日現在の住民記録		9月月報	—	10月1日現在の 被保険者データ
平成27年	56,339人	36.69%	14,143人	25.10%	57.6歳
令和2年	51,560人	40.77%	11,241人	21.80%	59.0歳

◎被保険者の推移



◎男女別・年齢階層別被保険者数構成割合(令和2年10月1日現在)

70歳から74歳の階層が一番多く、男性で29.3%、女性で33.8%を占めています。



第2項 医療受診の状況

県・同規模自治体・国と比較して、人口千人当たりの病院数、診療所数、病床数、医師数、外来及び入院患者数、一人当たりの医療費等の値は高い状況が続いています。健診未受診者は健診受診者よりも医療費が大幅に高くなっている状況も変化ありません。

◎医療基礎情報

医療項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	能代市			県	同規模	国	
千人当たり							
病院数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3
診療所数	4.1	4.3	4.4	4.6	3.8	3.2	3.4
病床数	94.0	98.5	102.0	105.2	71.1	55.7	52.0
医師数	10.6	11.2	12.4	12.8	11.2	8.6	10.7
外来患者数	738.3	738.5	770.3	786.3	755.8	709.6	682.3
入院患者数	25.0	25.2	23.6	24.7	23.5	20.5	18.7
受診率	763.3	763.7	793.9	811.0	779.3	730.1	701.0
一件当たり医療費	38,070	37,990	36,490	37,790	39,510	38,210	37,410
一般(円)	37,970	38,000	36,420	37,800	39,540	38,210	37,410
退職(円)	40,280	37,500	43,720	36,950	24,080	35,570	36,550
外来							
外来費用の割合	57.5%	56.3%	57.8%	58.4%	57.7%	58.9%	59.6%
外来受診率	738.3	738.5	770.3	786.3	755.8	709.6	682.3
一件当たり医療費(円)	22,620	22,120	21,730	22,780	23,480	23,150	22,890
一人当たり医療費(円)	16,700	16,340	16,740	17,910	17,750	16,430	15,620
一日当たり医療費(円)	15,200	15,090	15,290	16,070	16,680	15,360	15,080
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5
入院							
入院費用の割合	42.5%	43.7%	42.2%	41.6%	42.3%	41.1%	40.4%
入院率	25.0	25.2	23.6	24.7	23.5	20.5	18.7
一件当たり医療費(円)	494,500	503,300	518,100	516,590	554,140	559,530	567,030
一人当たり医療費(円)	12,350	12,680	12,230	12,740	13,040	11,470	10,600
一日当たり医療費(円)	28,190	29,060	29,520	30,160	31,360	34,450	36,070
一件当たり在院日数	17.5	17.3	17.5	17.1	17.7	16.2	15.7
健診有無別							
一人当たり医療費(円)							
健診受診者	18,330	21,350	20,090	19,500	27,080	25,580	20,910
健診未受診者	148,150	138,670	137,040	143,840	138,110	131,590	131,760
生活習慣病対象者							
健診受診者	45,100	53,450	49,970	48,450	72,830	71,360	61,530
健診未受診者	364,430	347,160	340,890	357,320	371,470	367,090	387,640

※「県」は秋田県を指す。以下すべての表において同様である。

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※KDBシステム出典のデータについては、KDBシステムで公開された年度とする(以下、同)

第3項 死因の状況

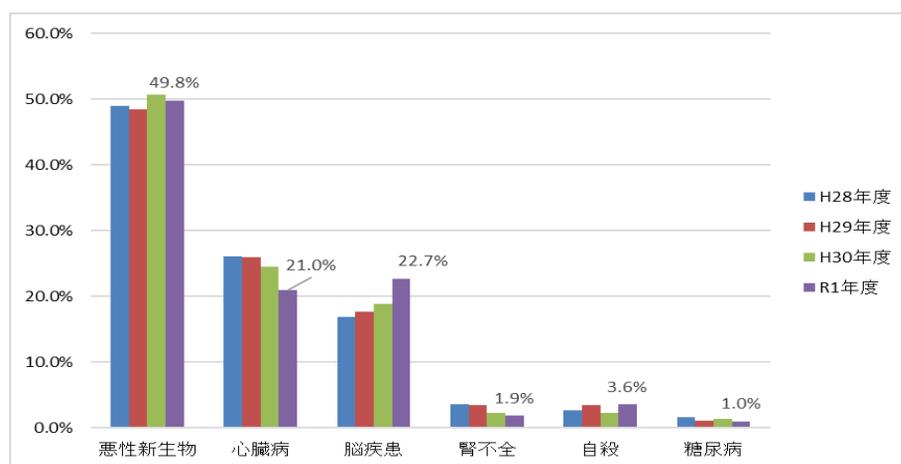
令和元年度の生活習慣病に係る疾患の主たる死因は、悪性新生物、いわゆるがんで49.8%、次いで脳疾患の22.7%、心臓病の21.0%となっており、県・同規模自治体・国と比較すると、心臓病が少なく、脳疾患が多くなっています。

◎主たる死因とその割合

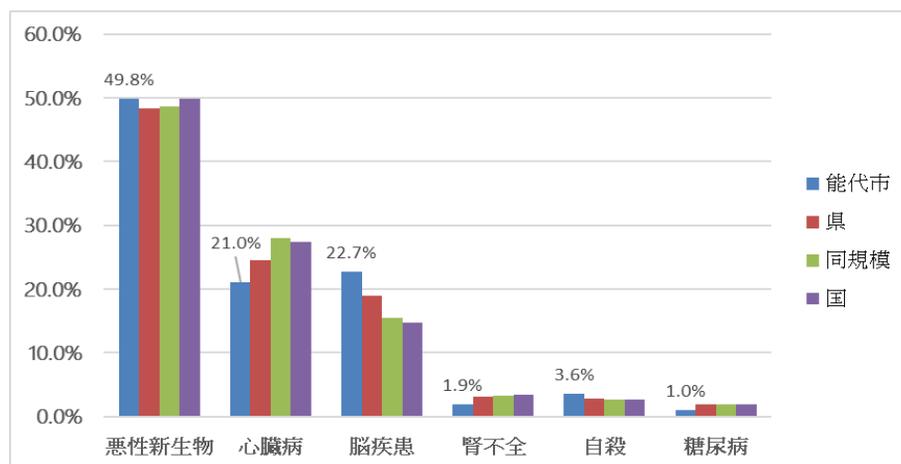
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
疾病項目	能代市			県	同規模	国	
悪性新生物	49.0%	48.5%	50.7%	49.8%	48.3%	48.6%	49.9%
心臓病	26.1%	25.9%	24.5%	21.0%	24.6%	28.0%	27.4%
脳疾患	16.9%	17.6%	18.8%	22.7%	19.0%	15.5%	14.7%
腎不全	3.6%	3.4%	2.3%	1.9%	3.2%	3.3%	3.4%
自殺	2.7%	3.4%	2.3%	3.6%	2.9%	2.7%	2.7%
糖尿病	1.6%	1.1%	1.4%	1.0%	2.0%	1.9%	1.9%

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(能代市)



(令和元年度 県・同規模自治体・国との比較)



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

第4項 介護保険の状況

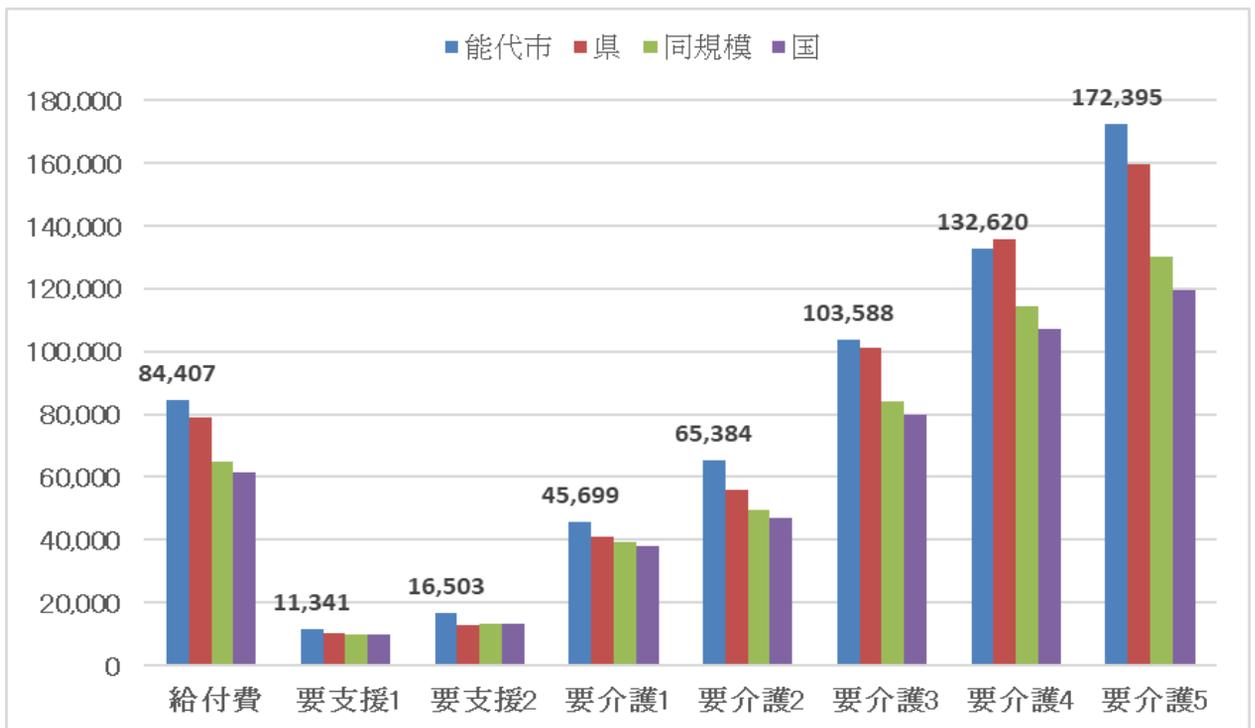
要介護認定者の割合及び一件当たりの介護給付費は、県・同規模自治体・国と比較して高い状況です。

◎介護保険認定率及び給付費等の状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
区分	能代市			県	同規模	国	
1号認定率	22.9%	21.9%	22.2%	22.1%	21.3%	18.4%	19.6%
一件当たり給付費(円)							
給付費	74,231	84,184	84,711	84,407	78,979	64,851	61,336
要支援1	11,356	11,934	11,012	11,341	10,464	9,701	9,825
要支援2	17,496	16,101	16,894	16,503	12,954	13,260	13,241
要介護1	50,190	46,828	47,159	45,699	41,155	39,469	37,931
要介護2	64,963	65,344	65,085	65,384	55,751	49,409	47,085
要介護3	100,611	102,154	103,969	103,588	100,985	84,213	79,808
要介護4	121,743	126,581	132,884	132,620	135,637	114,485	106,950
要介護5	157,344	160,940	162,547	172,395	159,634	130,059	119,410
2号認定率	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

◎レセプト一件当たり要介護度別給付費(令和元年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

要介護認定者の多くが生活習慣病を有し、特に心臓病を有している要介護認定者は60%を超えています。心臓病、筋・骨格、高血圧症、脂質異常症、アルツハイマー病、悪性新生物は、県・同規模自治体・国と比較し、数値が高い状況です。

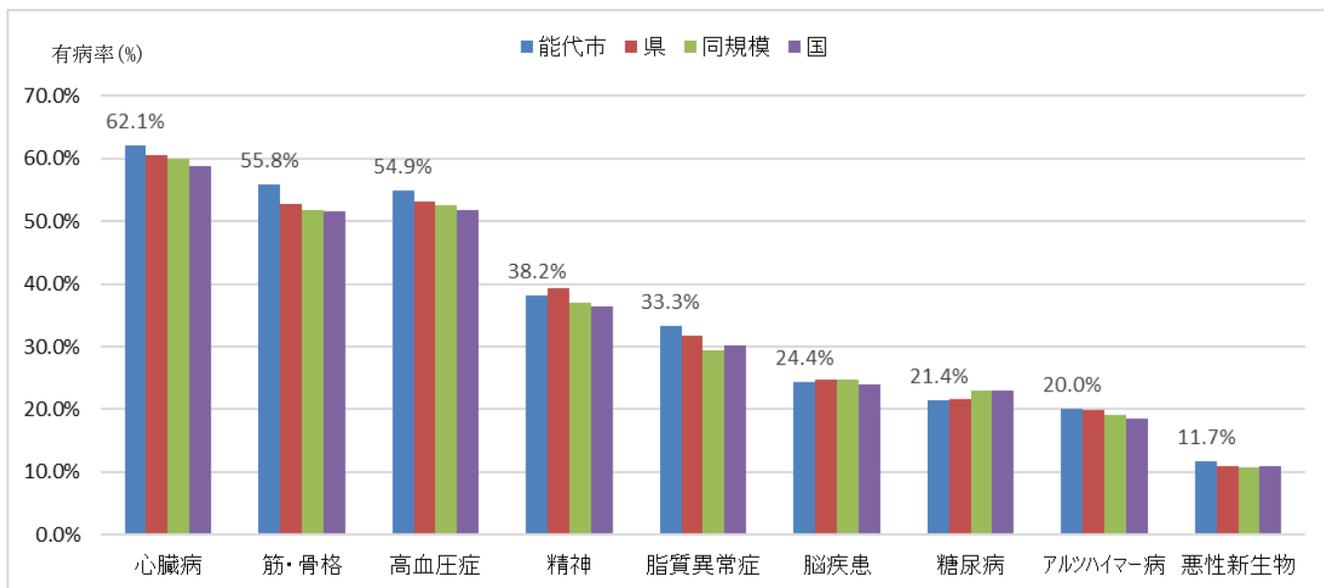


◎要介護認定者の疾病別有病状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
区分	能代市			県	同規模	国	
心臓病	61.9%	61.6%	61.7%	62.1%	60.5%	59.9%	58.7%
筋・骨格	55.8%	55.1%	54.6%	55.8%	52.7%	51.7%	51.6%
高血圧症	55.1%	54.6%	54.6%	54.9%	53.2%	52.6%	51.7%
精神	37.0%	36.6%	37.5%	38.2%	39.3%	36.9%	36.4%
脂質異常症	31.7%	32.0%	32.4%	33.3%	31.7%	29.4%	30.1%
脳疾患	27.1%	25.9%	24.8%	24.4%	24.7%	24.7%	24.0%
糖尿病	20.8%	20.9%	21.1%	21.4%	21.6%	23.0%	23.0%
アルツハイマー病	19.6%	20.2%	20.4%	20.0%	19.8%	19.1%	18.5%
悪性新生物	11.5%	10.9%	10.9%	11.7%	10.9%	10.7%	11.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(令和元年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

第5項 平均自立期間・平均余命の状況

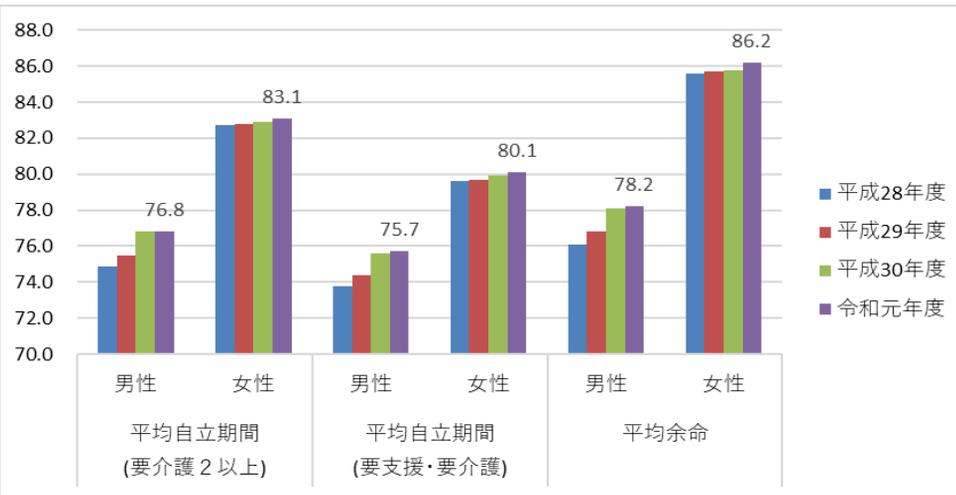
令和元年度の男女別平均自立期間（要介護2以上）、平均自立期間（要支援・要介護）、平均余命とも、県・同規模自治体・国と比較し、短い状況です。

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
項目	性別	能代市			県	同規模	国
平均自立期間 (要介護2以上)	男性	74.9	75.5	76.8	76.8	78.2	79.6
	女性	82.7	82.8	82.9	83.1	83.2	84.0
平均自立期間 (要支援・要介護)	男性	73.8	74.4	75.6	75.7	77.1	78.3
	性別	79.6	79.7	79.9	80.1	80.7	81.4
平均余命	男性	76.1	76.8	78.1	78.2	79.7	81.1
	女性	85.6	85.7	85.8	86.2	86.6	87.3

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

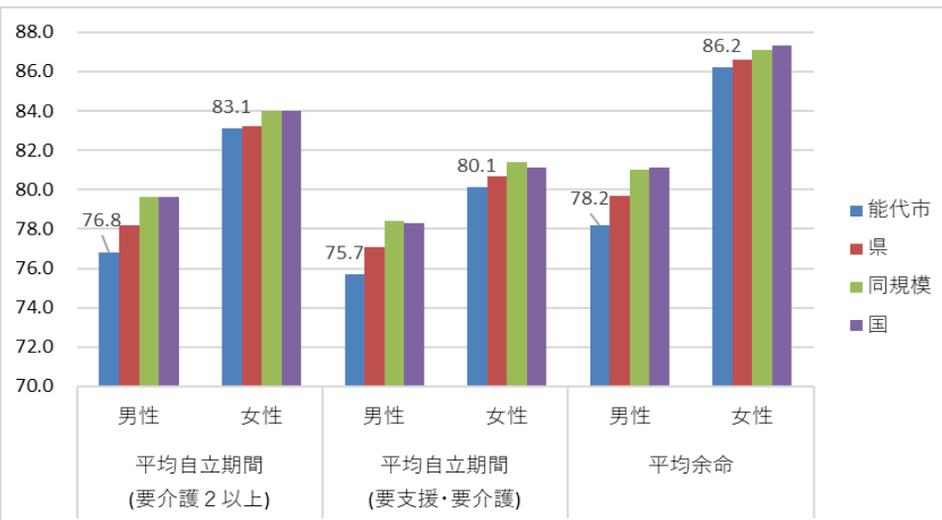
※平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均。
平均余命から、要介護2以上の期間を除いたもの。

(能代市)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(令和元年度 県・同規模自治体・国との比較)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

第6項 医療費等の分析

(1) 基礎統計

当医療費統計は、能代市国民健康保険における、平成28年度から令和元年度の入院(DPCを含む)、外来、調剤レセプトを対象とし分析しました。

年間平均被保険者数・患者数は減少傾向ですが、被保険者一人当たりの平均医療費は、増加傾向となっています。

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
		12カ月平均	12カ月合計	12カ月平均	12カ月合計	12カ月平均	12カ月合計	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	13,480		12,676		12,125		11,648		
B	レセプト件数(件)	入院外	9,891	118,697	9,247	110,966	9,272	111,258	9,105	109,265
		入院	335	4,016	312	3,748	285	3,415	285	3,418
		調剤	6,521	78,255	6,147	73,762	6,195	74,336	6,131	73,566
		合計	16,747	200,968	15,706	188,476	15,751	189,009	15,521	186,249
C	医療費(円) ※	390,274,011	4,683,288,130	362,250,483	4,347,005,800	350,288,357	4,203,460,280	354,771,242	4,257,254,900	
D	患者数(人) ※	7,339	88,068	6,855	82,254	6,779	81,353	6,602	79,218	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	28,952		28,578		28,889		30,457		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	23,304		23,064		22,239		22,858		
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	53,178		52,849		51,669		53,741		
B/A	受診率(%)	124.2%		123.9%		129.9%		133.2%		
D/A	有病率(%)	54.4%		54.1%		55.9%		56.7%		

※医療費…医療機関または保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関または保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 疾病別の状況

①大分類による疾病別医療費統計

◆全体

「循環器系の疾患」は、レセプト件数第1位、医療費総計第2位、患者数でも高くなっています。「新生物<腫瘍>」は、医療費総計、患者一人当たり医療費で第一位になっています。

◎患者数の多い疾病

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	消化器系の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	消化器系の疾患	循環器系の疾患	消化器系の疾患
3位	循環器系の疾患	循環器系の疾患	消化器系の疾患	循環器系の疾患

◎レセプト件数の多い疾病

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患	循環器系の疾患	循環器系の疾患	循環器系の疾患
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患
3位	消化器系の疾患	消化器系の疾患	消化器系の疾患	消化器系の疾患

◎医療費総計の高い疾病

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	新生物<腫瘍>	新生物<腫瘍>	新生物<腫瘍>	新生物<腫瘍>
2位	循環器系の疾患	循環器系の疾患	循環器系の疾患	循環器系の疾患
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患

◎患者一人当たりの医療費の高い疾病

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	新生物<腫瘍>	周産期に発症した病態	新生物<腫瘍>	新生物<腫瘍>
2位	妊娠、分娩及び産じょく	新生物<腫瘍>	周産期に発症した病態	精神及び行動の障害
3位	精神及び行動の障害	妊娠、分娩及び産じょく	精神及び行動の障害	周産期に発症した病態

※大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で月遅れ等の医科レセプトが存在しない場合集計できません。

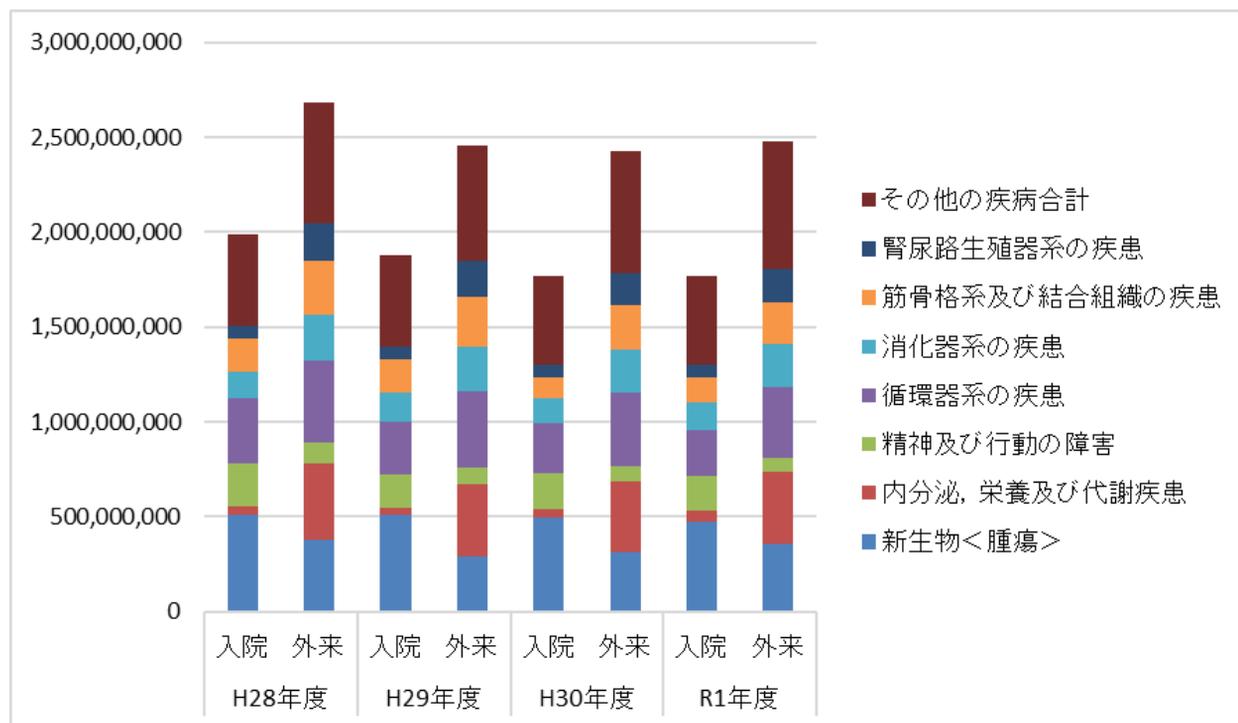
そのため他統計と一致しません。

◆入院・外来比較

入院・外来ともに医療費が高いのは「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」でした。全体では、入院医療費は減少、外来医療費は横ばいの傾向でした。

疾病項目 (大分類)	医療費総計 (千円)							
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
新生物<腫瘍>	507,775	379,181	506,627	287,972	498,381	310,650	475,361	357,061
内分泌、栄養及び代謝疾患	48,020	402,023	40,791	382,303	40,497	374,376	56,664	376,421
精神及び行動の障害	223,534	109,179	172,992	86,367	188,375	82,534	185,627	79,366
循環器系の疾患	343,786	433,565	282,781	408,475	264,675	384,604	241,218	367,531
消化器系の疾患	143,676	243,856	150,519	232,701	129,670	226,257	144,468	226,649
筋骨格系及び結合組織の疾患	174,350	281,232	178,147	260,917	114,723	236,783	134,863	226,293
腎尿路生殖器系の疾患	68,232	196,831	65,195	187,557	64,553	167,498	59,242	174,557
その他の疾病合計	477,781	638,591	481,706	612,393	467,616	643,515	470,163	675,107
合計	1,987,154	2,684,458	1,878,758	2,458,685	1,768,490	2,426,217	1,767,606	2,482,985

医療費(円)

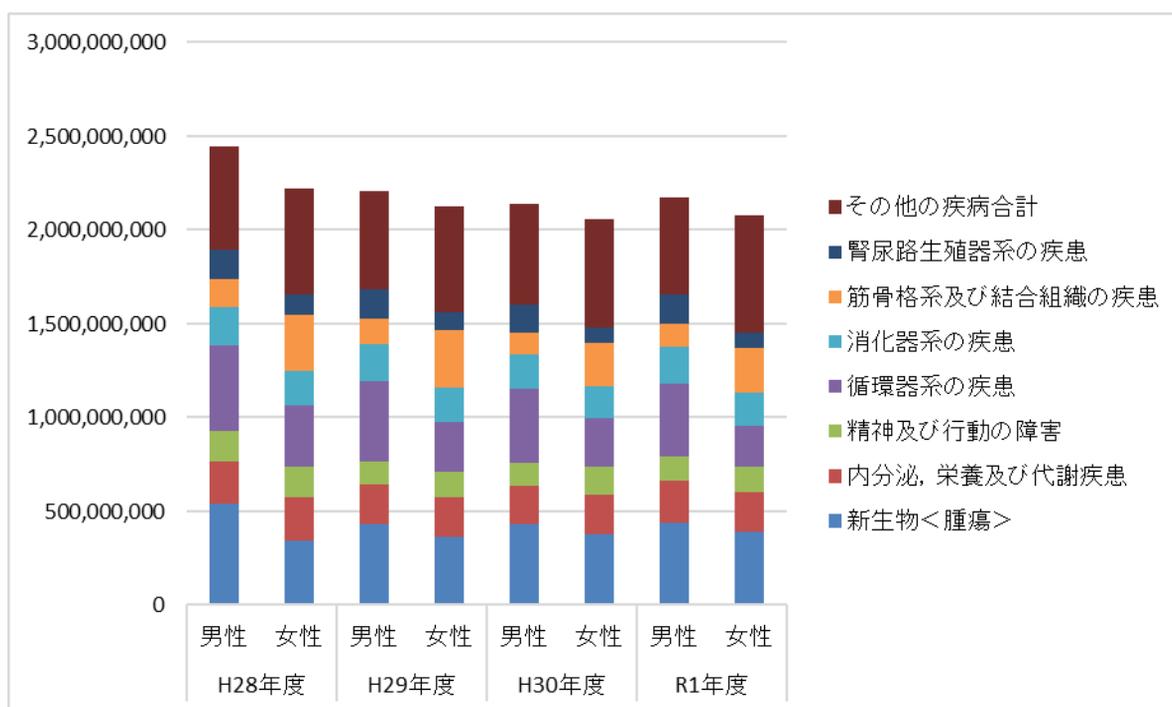


◆男性・女性比較

男性・女性ともに、最も医療費が高いのは「新生物<腫瘍>」でした。

疾病項目 (大分類)	医療費総計 (千円)							
	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
新生物<腫瘍>	541,949	345,008	428,501	366,098	429,869	379,163	439,320	393,103
内分泌, 栄養及び代謝疾患	221,083	228,960	212,663	210,431	208,995	205,877	222,519	210,566
精神及び行動の障害	166,806	165,907	123,916	135,442	121,218	149,691	130,080	134,914
循環器系の疾患	453,854	323,496	426,072	265,185	389,946	259,332	390,557	218,191
消化器系の疾患	202,596	184,937	197,636	185,584	186,700	169,227	193,518	177,599
筋骨格系及び結合組織の疾患	154,738	300,843	136,677	302,386	115,723	235,783	123,804	237,351
腎尿路生殖器系の疾患	156,558	108,505	155,134	97,619	152,333	79,718	155,923	77,876
その他の疾病合計	550,369	566,003	528,417	565,682	531,689	579,443	515,312	629,957
合計	2,447,953	2,223,659	2,209,016	2,128,427	2,136,473	2,058,234	2,171,033	2,079,557

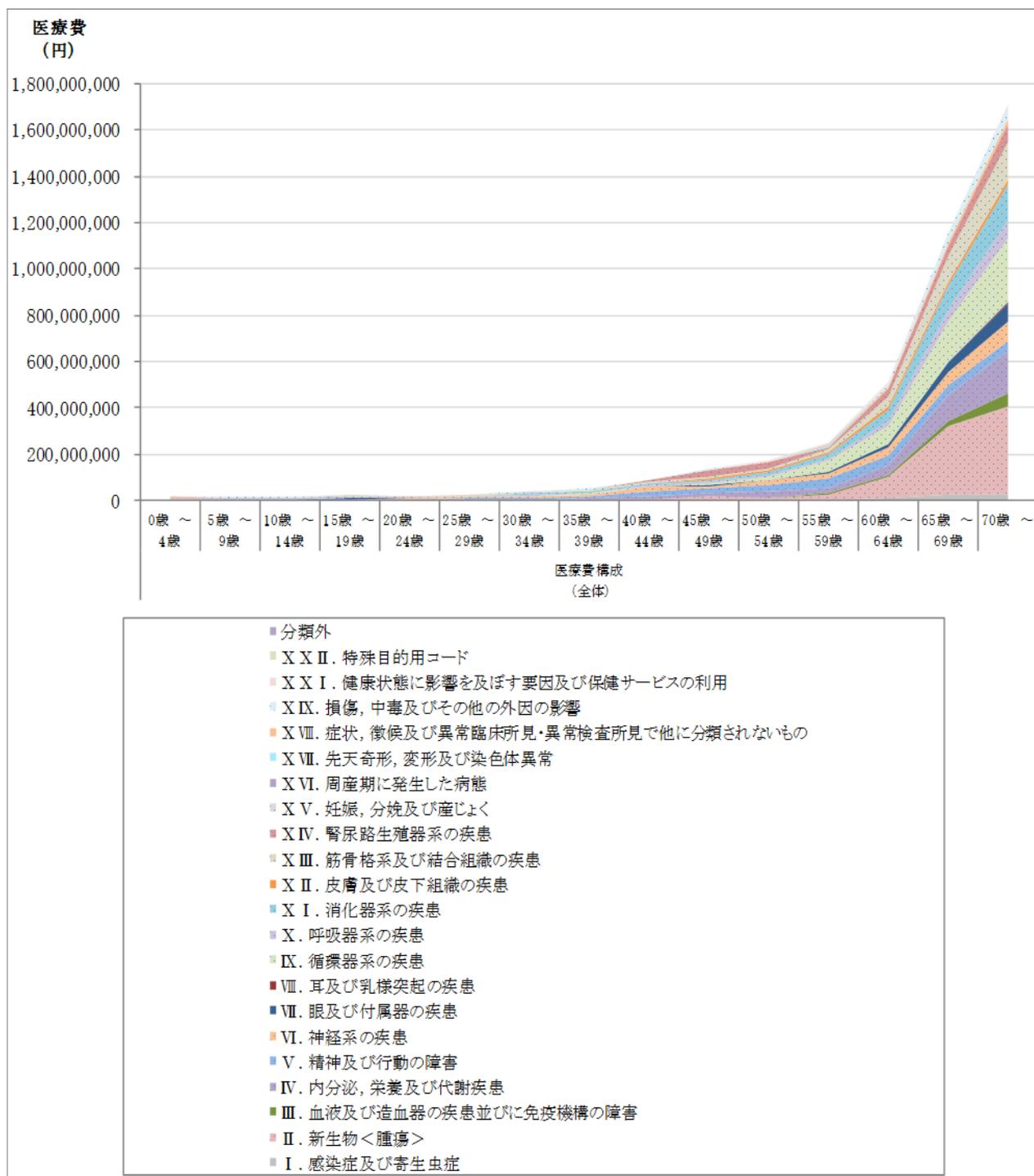
医療費(円)



◆年齢階層別比較

50歳代より医療費が増加傾向になり、年代が進むにつれて急激に増加しています。

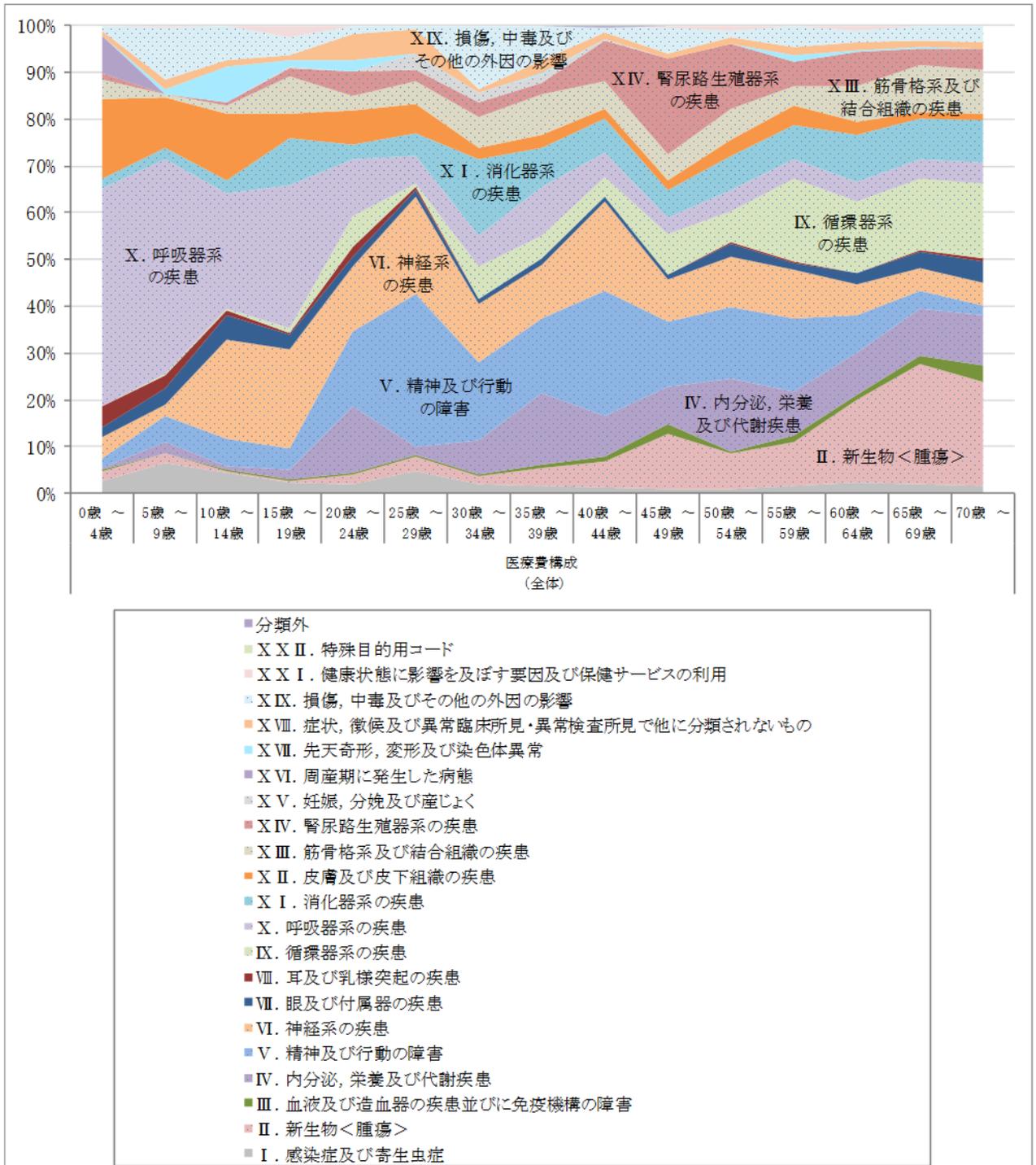
年齢階層別医療費（平成31年4月～令和2年3月診療分）



消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占めています。

年齢階層別医療費構成（平成31年4月から令和2年3月診療分）



消化器系の疾患…菌科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

◆行政区別比較

行政区ごとの医療費総計をみると、ほぼどの地区も高血圧症等の「循環器系の疾患」、「新生物<腫瘍>」が上位を占める傾向に変わりはありませんでした。

上段：疾病項目（大分類） 下段：医療費総計（円）

本 庁	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	新生物<腫瘍> 314,134,685	新生物<腫瘍> 295,445,099	新生物<腫瘍> 329,691,429	新生物<腫瘍> 290,302,845
2位	循環器系の疾患 289,476,733	循環器系の疾患 255,680,588	循環器系の疾患 235,959,255	循環器系の疾患 220,039,423
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患 167,161,415	内分泌、栄養及び代謝疾患 150,856,190	内分泌、栄養及び代謝疾患 148,014,963	内分泌、栄養及び代謝疾患 153,299,359

種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 81,109,837	循環器系の疾患 63,094,717	新生物<腫瘍> 65,151,667	新生物<腫瘍> 79,122,628
2位	新生物<腫瘍> 78,926,960	新生物<腫瘍> 59,553,170	循環器系の疾患 53,052,614	循環器系の疾患 69,005,205
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患 52,002,984	消化器系の疾患 51,802,195	内分泌、栄養及び代謝疾患 46,419,046	内分泌、栄養及び代謝疾患 56,730,048

向能代	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	新生物<腫瘍> 113,331,296	新生物<腫瘍> 135,237,291	新生物<腫瘍> 133,557,180	新生物<腫瘍> 113,025,245
2位	循環器系の疾患 88,425,964	循環器系の疾患 102,074,912	循環器系の疾患 96,410,513	循環器系の疾患 99,775,899
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患 70,651,366	筋骨格系及び結合組織の疾患 65,970,394	内分泌、栄養及び代謝疾患 60,721,080	筋骨格系及び結合組織の疾患 65,428,275

扇 洲	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 19,486,013	循環器系の疾患 24,885,010	循環器系の疾患 26,176,286	循環器系の疾患 28,226,098
2位	筋骨格系及び結合組織の疾患 16,100,811	筋骨格系及び結合組織の疾患 22,224,196	内分泌、栄養及び代謝疾患 15,340,077	新生物<腫瘍> 22,622,126
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患 14,264,385	内分泌、栄養及び代謝疾患 14,310,651	筋骨格系及び結合組織の疾患 12,735,933	消化器系の疾患 22,116,222

檜 山	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 20,956,221	循環器系の疾患 14,365,171	新生物<腫瘍> 14,587,580	内分泌、栄養及び代謝疾患 12,728,586
2位	新生物<腫瘍> 17,167,155	内分泌、栄養及び代謝疾患 13,057,211	腎尿路生殖器系の疾患 11,113,282	腎尿路生殖器系の疾患 11,986,357
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患 11,942,414	新生物<腫瘍> 12,504,427	循環器系の疾患 10,213,168	循環器系の疾患 11,507,873

上段：疾病項目（大分類） 下段：医療費総計（円）

鶴形	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 11,951,226	循環器系の疾患 12,712,163	循環器系の疾患 13,360,601	循環器系の疾患 6,029,478
2位	精神及び行動の障害 7,871,229	新生物<腫瘍> 11,707,882	感染症及び寄生虫症 6,860,835	消化器系の疾患 5,662,847
3位	消化器系の疾患 7,064,392	消化器系の疾患 9,202,214	筋骨格系及び結合組織の疾患 6,481,254	内分泌、栄養及び代謝疾患 5,453,739

浅内	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 77,770,840	循環器系の疾患 56,492,356	循環器系の疾患 56,382,230	新生物<腫瘍> 72,887,599
2位	新生物<腫瘍> 57,465,431	新生物<腫瘍> 52,966,525	新生物<腫瘍> 52,149,665	循環器系の疾患 41,987,674
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患 41,414,391	筋骨格系及び結合組織の疾患 28,660,594	内分泌、栄養及び代謝疾患 28,064,277	消化器系の疾患 33,443,150

常盤	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 37,937,952	循環器系の疾患 22,394,644	循環器系の疾患 24,809,719	新生物<腫瘍> 38,989,046
2位	新生物<腫瘍> 35,313,941	筋骨格系及び結合組織の疾患 15,120,656	新生物<腫瘍> 15,091,978	循環器系の疾患 34,008,630
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患 16,319,493	内分泌、栄養及び代謝疾患 15,033,935	内分泌、栄養及び代謝疾患 13,875,085	内分泌、栄養及び代謝疾患 14,778,450

二ツ井	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	新生物<腫瘍> 146,609,857	新生物<腫瘍> 111,359,971	新生物<腫瘍> 113,192,522	新生物<腫瘍> 115,986,064
2位	循環器系の疾患 114,270,861	循環器系の疾患 104,995,422	循環器系の疾患 93,168,034	循環器系の疾患 75,096,974
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患 74,625,788	筋骨格系及び結合組織の疾患 85,588,457	内分泌、栄養及び代謝疾患 66,784,310	内分泌、栄養及び代謝疾患 62,546,541

富根	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1位	循環器系の疾患 18,276,485	新生物<腫瘍> 21,022,947	新生物<腫瘍> 17,948,513	新生物<腫瘍> 27,217,039
2位	新生物<腫瘍> 16,113,004	筋骨格系及び結合組織の疾患 16,707,219	循環器系の疾患 13,044,153	腎尿路生殖器系の疾患 12,072,614
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患 11,293,811	腎尿路生殖器系の疾患 12,127,203	腎尿路生殖器系の疾患 12,197,917	循環器系の疾患 11,463,397

②中分類による疾病別医療費統計

◎患者数

平成28年度			平成29年度		
順位	中分類疾病項目	患者数(人) 構成比(%)	順位	中分類疾病項目	患者数(人) 構成比(%)
1	高血圧性疾患	5,006 41.8%	1→	高血圧性疾患	4,815 42.9%
2	その他の消化器系の疾患	4,215 35.2%	2→	その他の消化器系の疾患	4,038 36.0%
3	脂質異常症	3,839 32.1%	3→	脂質異常症	3,751 33.4%
4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,487 29.1%	4→	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,341 29.8%
5	胃炎及び十二指腸炎	3,431 28.7%	5↗	糖尿病	3,261 29.0%
6	糖尿病	3,317 27.7%	6↘	胃炎及び十二指腸炎	3,166 28.2%
7	その他の神経系の疾患	3,256 27.2%	7→	その他の神経系の疾患	3,164 28.2%
8	屈折及び調節の障害	3,191 26.6%	8→	屈折及び調節の障害	2,847 25.4%
9	その他の眼及び付属器の疾患	2,883 24.1%	9→	その他の眼及び付属器の疾患	2,650 23.6%
10	皮膚炎及び湿疹	2,754 23.0%	10→	皮膚炎及び湿疹	2,554 22.7%

平成30年度			令和元年度		
順位	中分類疾病項目	患者数(人) 構成比(%)	順位	中分類疾病項目	患者数(人) 構成比(%)
1→	高血圧性疾患	4,783 43.7%	1→	高血圧性疾患	4,674 44.5%
2→	その他の消化器系の疾患	4,030 36.8%	2→	その他の消化器系の疾患	3,935 37.5%
3→	脂質異常症	3,824 35.0%	3→	脂質異常症	3,787 36.1%
4→	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,344 30.6%	4↗	糖尿病	3,264 31.1%
5→	糖尿病	3,331 30.5%	5↘	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,074 29.3%
6→	胃炎及び十二指腸炎	3,113 28.5%	6→	胃炎及び十二指腸炎	3,070 29.3%
7→	その他の神経系の疾患	2,983 27.3%	7↗	屈折及び調節の障害	2,915 27.8%
8→	屈折及び調節の障害	2,881 26.3%	8↘	その他の神経系の疾患	2,841 27.1%
9→	その他の眼及び付属器の疾患	2,630 24.0%	9→	その他の眼及び付属器の疾患	2,642 25.2%
10→	皮膚炎及び湿疹	2,556 23.4%	10→	皮膚炎及び湿疹	2,629 25.1%

※患者数…中分類における疾病項目ごとに集計するため、複数疾病をもつ患者は、重複して集計されます。
 ※構成比…患者全体に対して占める割合。

◎医療費

平成28年度			平成29年度		
順位	中分類疾病項目	医療費(円)	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)
		構成比(%)			構成比(%)
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	295,986,084 6.3%	1↗	高血圧性疾患	264,802,690 6.1%
2	高血圧性疾患	285,912,655 6.1%	2↘	その他の悪性新生物<腫瘍>	237,636,547 5.5%
3	糖尿病	222,376,169 4.8%	3→	糖尿病	206,450,358 4.8%
4	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	193,476,745 4.1%	4↗	その他の消化器系の疾患	201,075,756 4.6%
5	その他の消化器系の疾患	192,098,107 4.1%	5↗	その他の神経系の疾患	190,424,154 4.4%
6	その他の心疾患	166,887,531 3.6%	6→	その他の心疾患	160,751,524 3.7%
7	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	164,722,238 3.5%	7↗	腎不全	156,068,968 3.6%
8	腎不全	162,513,822 3.5%	8↘	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	154,423,396 3.6%
9	脂質異常症	158,661,786 3.4%	9→	脂質異常症	150,276,070 3.5%
10	その他の神経系の疾患	132,201,471 2.8%	10↘	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	144,233,221 3.3%

平成30年度			令和元年度		
順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)
		構成比(%)			構成比(%)
1↗	その他の悪性新生物<腫瘍>	260,662,112 6.2%	1→	その他の悪性新生物<腫瘍>	265,307,574 6.2%
2↘	高血圧性疾患	240,279,167 5.7%	2→	高血圧性疾患	227,793,657 5.4%
3→	糖尿病	205,793,575 4.9%	3→	糖尿病	222,028,520 5.2%
4→	その他の消化器系の疾患	189,561,658 4.5%	4↗	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	215,622,869 5.1%
5→	その他の神経系の疾患	177,272,615 4.2%	5↘	その他の消化器系の疾患	201,984,699 4.8%
6→	その他の心疾患	159,417,035 3.8%	6↘	その他の神経系の疾患	164,826,771 3.9%
7↗	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	158,576,284 3.8%	7↗	腎不全	153,180,672 3.6%
8↘	腎不全	143,893,094 3.4%	8↗	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	144,386,762 3.4%
9↗	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	140,146,497 3.3%	9↘	その他の心疾患	141,005,814 3.3%
10↘	脂質異常症	138,780,362 3.3%	10→	脂質異常症	136,910,097 3.2%

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合は集計できません。そのため他統計と一致しません。

◎患者一人当たりの医療費が高額な疾病

平成28年度			平成29年度		
順位	中分類疾病項目	患者一人当たりの医療費（円）	順位	疾病分類（中分類）	患者一人当たりの医療費（円）
1	白血病	1,242,725	1→	白血病	1,116,268
2	腎不全	748,912	2↗	くも膜下出血	1,022,505
3	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	632,165	3↗	妊娠及び胎児発育に関連する障害	696,855
4	くも膜下出血	511,867	4↘	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	585,736
5	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	427,101	5↘	腎不全	437,168
6	悪性リンパ腫	424,202	6↗	脳内出血	351,900
7	脳内出血	369,119	7↘	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	333,873
8	乳房の悪性新生物<腫瘍>	285,076	8→	乳房の悪性新生物<腫瘍>	291,248
9	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	256,178	9↗	パーキンソン病	271,370
10	その他の周産期に発生した病態	250,863	10↘	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	251,095

平成30年度			令和元年度		
順位	疾病分類（中分類）	患者一人当たりの医療費（円）	順位	疾病分類（中分類）	患者一人当たりの医療費（円）
1→	白血病	1,470,419	1↗	くも膜下出血	861,496
2↗	悪性リンパ腫	1,162,695	2↗	腎不全	575,867
3↗	腎不全	587,319	3↗	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	488,279
4↘	くも膜下出血	538,688	4↗	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	352,325
5↘	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	491,409	5↗	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	342,149
6↗	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	324,413	6↗	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	305,419
7↗	乳房の悪性新生物<腫瘍>	292,425	7↗	その他の周産期に発生した病態	288,861
8↗	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	279,184	8↗	パーキンソン病	272,098
9↗	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	252,603	9↘	乳房の悪性新生物<腫瘍>	256,035
10↘	妊娠及び胎児発育に関連する障害	226,327	10↘	悪性リンパ腫	252,939

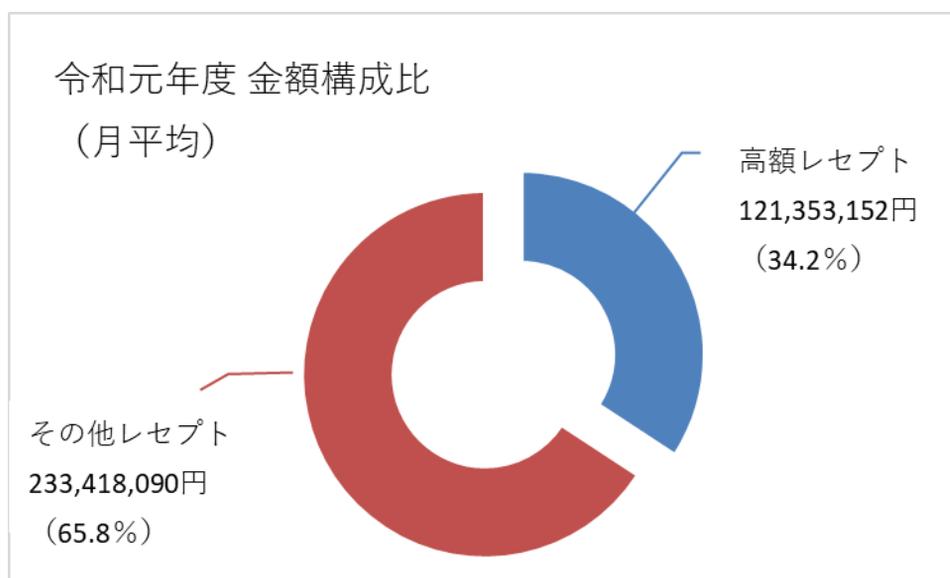
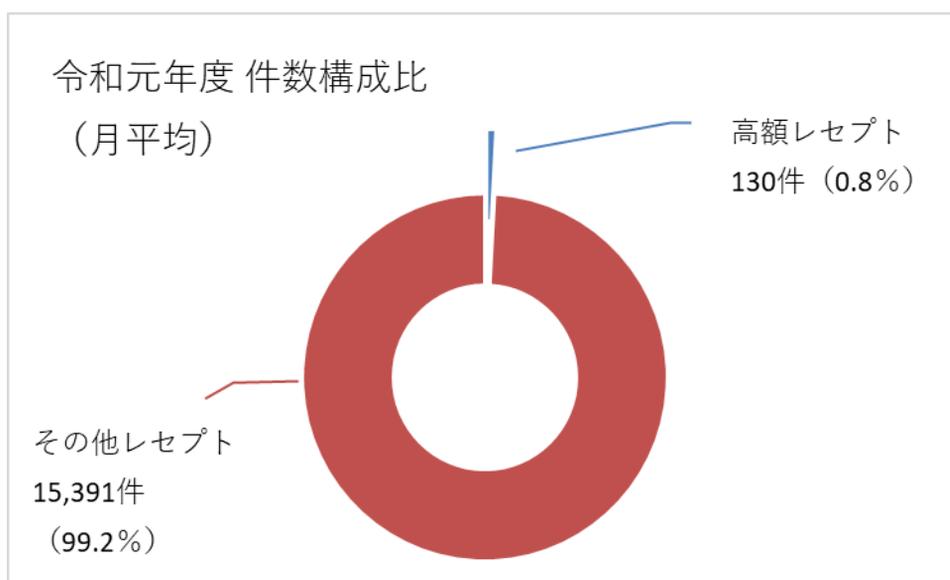
※患者一人当たりの医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

(3) 高額（5万点以上）レセプトの件数及び要因

◆高額レセプトの件数及び金額の構成

件数は月平均120件程度発生し、全体のわずか0.8%ですが、医療費は月平均1億円を超え、全体の30%以上を占めています。

高額レセプト (5万点以上)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	月平均	割合	月平均	割合	月平均	割合	月平均	割合
件数(件)	127	0.8%	118	0.8%	117	0.7%	130	0.8%
医療費(千円)	121,504	31.1%	111,427	30.8%	111,267	31.8%	121,353	34.2%



◆高額レセプトの要因となる疾病傾向

◎高額レセプトの要因となる疾病(患者数順)

平成28年度				平成29年度			
順位	中分類			順位	中分類		
1	その他の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	83	1→	その他の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	69
		医療費(円)	282,269,180			医療費(円)	233,574,940
		患者一人当たりの医療費(円)	3,400,833			患者一人当たりの医療費(円)	3,385,144
2	骨折	患者数(人)	39	2↗	胃の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	35
		医療費(円)	73,326,890			医療費(円)	100,514,920
		患者一人当たりの医療費(円)	1,880,177			患者一人当たりの医療費(円)	2,871,855
3	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	32	2↗	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	35
		医療費(円)	169,035,810			医療費(円)	163,347,790
		患者一人当たりの医療費(円)	5,282,369			患者一人当たりの医療費(円)	4,667,080
4	脳梗塞	患者数(人)	27	2→	骨折	患者数(人)	35
		医療費(円)	71,271,690			医療費(円)	74,937,660
		患者一人当たりの医療費(円)	2,639,692			患者一人当たりの医療費(円)	2,141,076
5	結腸の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	26	5↗	その他の消化器系の疾患	患者数(人)	28
		医療費(円)	96,822,870			医療費(円)	63,500,750
		患者一人当たりの医療費(円)	3,723,957			患者一人当たりの医療費(円)	2,267,884

平成30年度				令和元年度			
順位	中分類			順位	中分類		
1→	その他の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	70	1→	その他の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	59
		医療費(円)	234,419,580			医療費(円)	238,996,450
		患者一人当たりの医療費(円)	3,348,851			患者一人当たりの医療費(円)	4,050,787
2→	骨折	患者数(人)	39	2↗	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	42
		医療費(円)	87,142,740			医療費(円)	241,111,290
		患者一人当たりの医療費(円)	2,234,429			患者一人当たりの医療費(円)	5,740,745
3↘	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	34	3↘	骨折	患者数(人)	39
		医療費(円)	171,713,630			医療費(円)	78,985,150
		患者一人当たりの医療費(円)	5,050,401			患者一人当たりの医療費(円)	2,025,260
4↗	脳梗塞	患者数(人)	30	4↗	胃の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	28
		医療費(円)	74,028,340			医療費(円)	77,341,060
		患者一人当たりの医療費(円)	2,467,611			患者一人当たりの医療費(円)	2,762,181
5↘	胃の悪性新生物<腫瘍>	患者数(人)	24	5↗	虚血性心疾患	患者数(人)	26
		医療費(円)	70,438,520			医療費(円)	53,102,500
		患者一人当たりの医療費(円)	2,934,938			患者一人当たりの医療費(円)	2,042,404
5↗	その他の心疾患	患者数(人)	24	5↗	その他の消化器系の疾患	患者数(人)	26
		医療費(円)	75,816,080			医療費(円)	46,473,110
		患者一人当たりの医療費(円)	3,159,003			患者一人当たりの医療費(円)	1,787,427

◎高額レセプトの要因となる疾病(患者一人当たりの医療費順)

平成28年度			平成29年度		
順位	中分類名	患者一人当たりの医療費(円)	順位	中分類名	患者一人当たりの医療費(円)
1	喘息	8,243,360	1↗	その他の精神及び行動の障害	7,774,605
2	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,611,957	2↗	白血病	7,050,583
3	その他の精神及び行動の障害	5,947,933	3↗	その他の理由による保健サービスの利用者	6,619,855
4	白血病	5,899,676	4↗	腎不全	5,191,406
5	腎不全	5,803,708	5↗	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	4,902,747

平成30年度			令和元年度		
順位	中分類名	患者一人当たりの医療費(円)	順位	中分類名	患者一人当たりの医療費(円)
1↗	悪性リンパ腫	9,245,696	1↗	貧血	23,141,720
2↗	貧血	8,284,227	2↗	その他の循環器系の疾患	10,820,603
3↘	その他の精神及び行動の障害	7,885,430	3→	その他の精神及び行動の障害	8,257,093
4↗	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,849,220	4→	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,850,040
5↘	白血病	5,788,658	5↗	くも膜下出血	6,567,133

(4) 医療機関受診状況の把握

医療機関への必要以上の受診の可能性がある、重複、頻回受診者数、同一薬効の医薬品を重複して処方されている重複服薬者数は、次のとおりです。

◆重複受診者

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している患者が対象です。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外です。

◎重複受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数	実人数
平成28年度	2	8	6	5	3	5	10	7	10	7	5	12	80	61
平成29年度	8	6	6	5	6	8	8	7	9	3	6	8	80	49
平成30年度	9	6	6	8	3	5	7	9	8	8	8	13	90	56
令和元年度	11	7	9	7	5	7	13	6	6	16	8	7	102	65

【重複受診の要因となる上位5疾病】令和元年度

順位	病名	分類	割合(%)
1	不眠症	神経系の疾患	34.0%
2	高血圧症	循環器系の疾患	8.3%
3	糖尿病	内分泌、栄養及び代謝疾患	6.6%
4	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.6%
5	めまい	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4.7%

◆頻回受診者

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者が対象です。透析患者は対象外です。

◎頻回受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数	実人数
平成28年度	24	23	26	25	25	21	24	20	19	12	20	30	269	107
平成29年度	25	20	22	26	19	21	27	27	20	21	22	24	274	103
平成30年度	15	20	22	16	15	19	21	13	19	13	12	24	209	78
令和元年度	18	21	21	16	17	21	14	17	17	23	25	27	237	95

【頻回受診の要因となる上位5疾病】令和元年度

順位	病名	分類	割合(%)
1	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.8%
2	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.8%
3	統合失調症	精神及び行動の障害	6.1%
4	甲状腺機能異常	内分泌, 栄養及び代謝疾患	4.9%
5	手関節部腱鞘炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	4.9%

◆重複服薬者

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者が対象です。

◎重複服薬者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ人数	実人数
平成28年度	40	32	27	25	28	33	54	41	50	46	44	43	463	230
平成29年度	39	31	35	32	35	37	34	33	35	32	20	29	392	176
平成30年度	29	29	32	31	27	33	27	24	25	24	23	33	337	159
令和元年度	32	25	20	27	28	26	29	32	33	35	29	32	348	156

【重複服薬の要因となる上位5薬品】令和元年度

順位	薬品名	効能	割合(%)
1	デパス錠0.5mg	精神神経用剤	17.4%
2	ハルシオン0.25mg錠	催眠鎮静剤, 抗不安剤	9.6%
3	マイスリー錠10mg	催眠鎮静剤, 抗不安剤	8.5%
4	リリカOD錠75mg	その他の中枢神経系用薬	4.6%
5	プルゼニド錠12mg	下剤, 浣腸剤	4.0%

※薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された薬品名。

(5) 人工透析の実態

人工透析患者の実態を分析しました。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

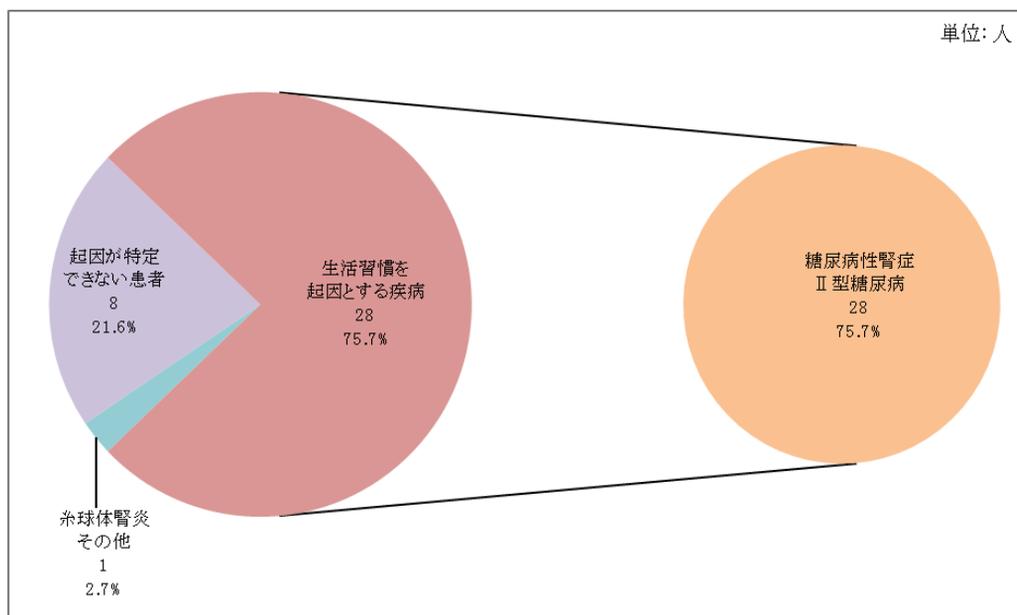
令和元年度の分析の結果、起因が明らかとなった患者28人（75.7%）全員が生活習慣病を起因とする疾病（主にⅡ型糖尿病）から人工透析に至ったと考えられます。

◎対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析流法の種類	平成28年度 透析患者数 (人)	平成29年度 透析患者数 (人)	平成30年度 透析患者数 (人)	令和元年度 透析患者数 (人)
血液透析のみ	42	37	35	37
腹膜透析のみ	0	0	0	0
血液透析及び腹膜透析	0	0	0	0
透析患者合計	42	37	35	37

※データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」または「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計しています。現時点で資格喪失している被保険者についても集計しています。緊急透析と思われる患者は除きます。

◎透析患者の起因（令和元年度）



※データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」または「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計しています。現時点で資格喪失している被保険者についても集計しています。緊急透析と思われる患者は除きます。

◎透析患者の医療費（令和元年度）

患者一人当たりの医療費平均は522万円程度、このうち透析関連の医療費が494万円程度、透析関連以外の医療費が27万円程度です。

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	28	75.7%	139,421,050	7,258,860	146,679,910	4,979,323	259,245	5,238,568	414,944	21,604	436,547
② その他	9	24.3%	43,413,150	2,882,360	46,295,510	6,658,390	1,418,118	8,076,508	554,866	118,176	673,042
透析患者全体	37		182,834,200	10,141,220	192,975,420						
患者一人当たり 医療費平均			4,941,465	274,087	5,215,552						
患者一人当たり ひと月当たり 医療費平均			411,789	22,841	434,629						

- ・データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」または「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計しています。
- ・現時点で資格喪失している被保険者についても集計しています。緊急透析と思われる患者は除きます。
- ・一人当たり医療費、一人当たりひと月あたり医療費は、全体の医療費を人数で除して、小数点第一位を四捨五入した金額のため、合計欄は一致しない場合があります。

第7項 特定健康診査結果の分析

◎有所見者数の状況

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
BMI	763人	26.3%	793人	27.4%	837人	28.8%	796人	28.6%
腹囲	824人	28.4%	763人	26.4%	811人	27.9%	830人	29.8%
収縮期血圧	1,647人	56.8%	1,593人	55.0%	1,626人	55.9%	1,555人	55.9%
拡張期血圧	825人	28.5%	734人	25.4%	701人	24.1%	646人	23.2%
中性脂肪	502人	17.3%	515人	17.8%	516人	17.7%	529人	19.0%
LDLコレステロール	1,472人	50.8%	1,504人	52.0%	1,496人	51.4%	1,439人	51.7%
HDLコレステロール	64人	2.2%	71人	2.5%	82人	2.8%	74人	2.7%
空腹時血糖	1,215人	41.9%	1,234人	42.6%	1,301人	44.7%	1,198人	43.0%
HbA1c	1,625人	56.1%	1,690人	58.4%	1,617人	55.5%	1,988人	71.4%

令和元年度で県・国と比べると、収縮期血圧、拡張期血圧、空腹時血糖、HbA1cの有所見者の割合が高いです。

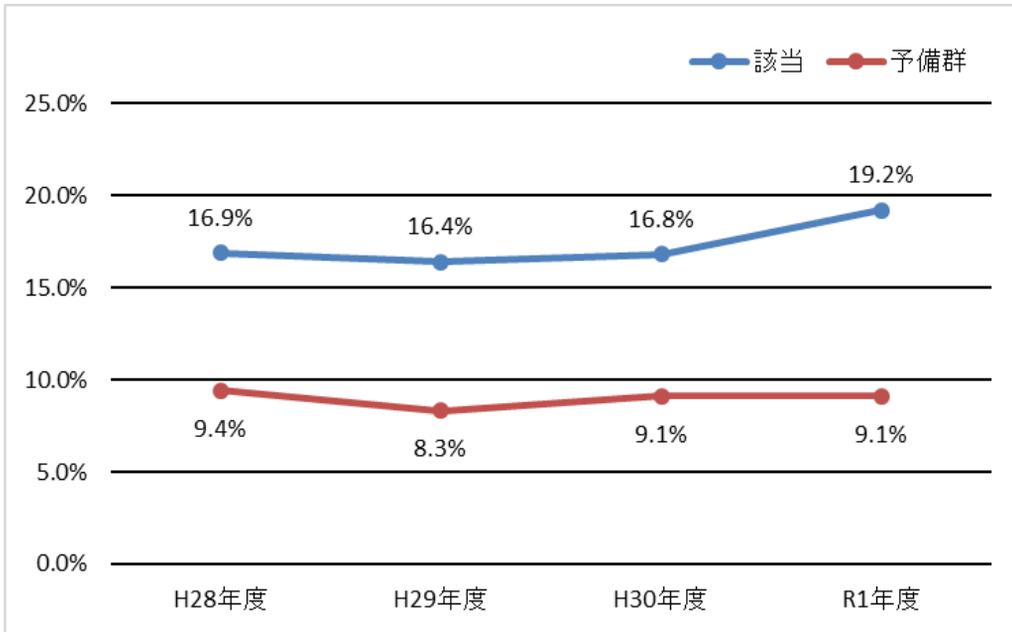
	令和元年度					
	能代市		県		国	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
BMI	796人	28.6%	18,434人	29.7%	1,987,233人	26.5%
腹囲	830人	29.8%	20,561人	33.1%	2,537,819人	33.8%
収縮期血圧	1,555人	55.9%	32,310人	52.0%	3,414,320人	45.5%
拡張期血圧	646人	23.2%	13,416人	21.6%	1,455,137人	19.4%
中性脂肪	529人	19.0%	15,619人	25.1%	1,598,885人	21.3%
LDLコレステロール	1,439人	51.7%	29,985人	48.2%	4,016,842人	53.5%
HDLコレステロール	74人	2.7%	2,324人	3.7%	310,757人	4.1%
空腹時血糖	1,198人	43.0%	13,979人	22.5%	1,796,804人	23.9%
HbA1c	1,988人	71.4%	33,615人	54.1%	4,299,435人	57.3%

出典：厚生労働省様式5-2 健診有所見者状況。割合は、健診受診者に占める割合。

◎内臓脂肪症候群の状況

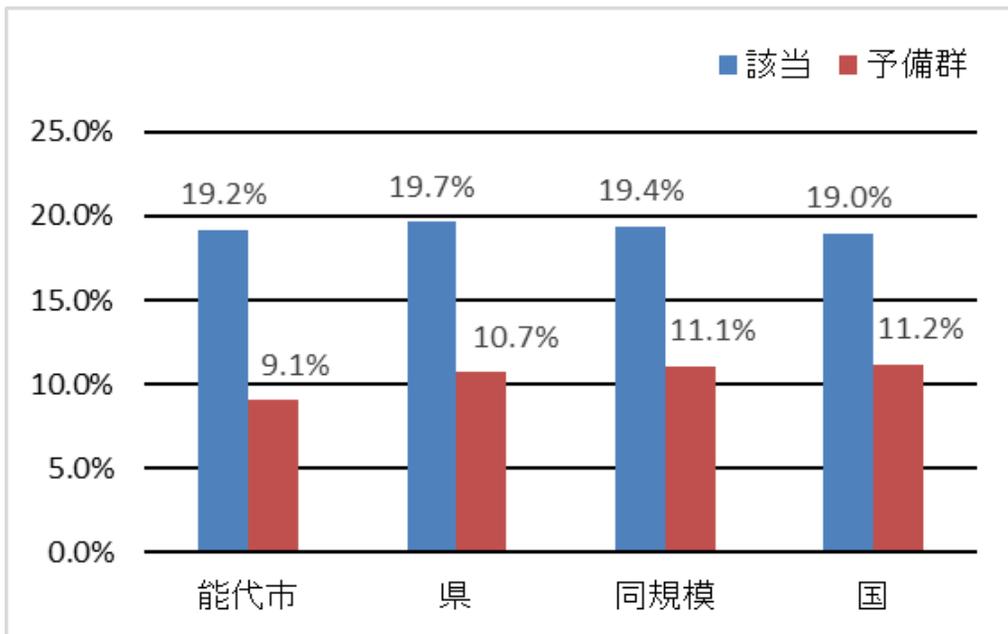
内臓脂肪症候群該当者の割合は、上昇傾向です。

(能代市)



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

(令和元年度)



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

◎非肥満高血糖の状況

令和元年度では、県・同規模自治体・国と比べ、非肥満高血糖の割合が高いです。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	能代市			県	同規模	国	
割合	11.4%	13.2%	13.2%	11.5%	9.2%	10.3%	9.3%

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

◎質問票の結果から

県・同規模自治体・国と比べ割合が高かった項目は下記のとおりです。

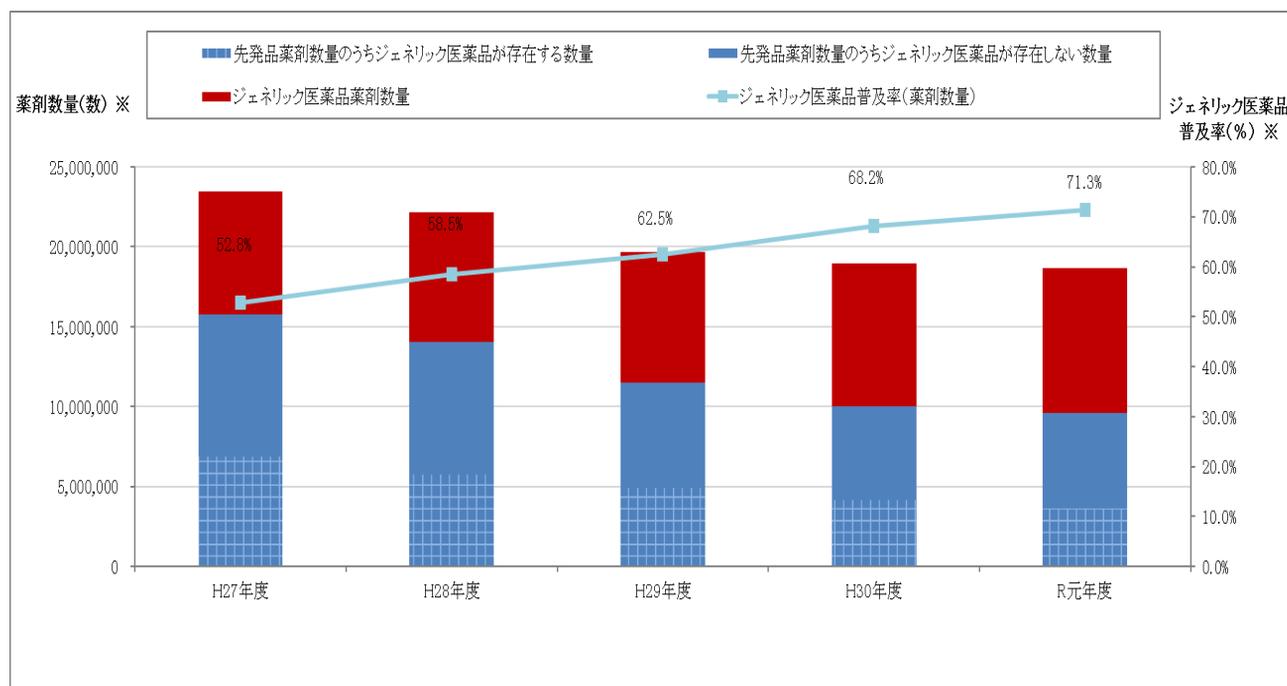
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	能代市			県	同規模	国	
1回30分以上の運動習慣なし	61.7%	61.0%	61.1%	60.0%	59.7%	59.3%	59.9%
1日1時間以上運動なし	54.9%	56.5%	56.2%	55.5%	40.0%	46.1%	47.8%
食事速度 早い	28.5%	28.2%	30.1%	30.1%	25.8%	26.6%	27.5%
食事速度 遅い	10.1%	10.7%	10.0%	9.9%	7.3%	8.2%	8.1%
週3回以上夕食後間食	15.8%	16.1%	-	-	-	-	-
朝昼夕3食以外の間食や甘い飲み物 毎日	-	-	22.8%	22.8%	22.0%	20.7%	20.5%

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

第8項 ジェネリック医薬品の普及状況

◎ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、増加傾向にあります。目標に到達はしていません。



※以下により分析しているため、32ページ及び40ページのジェネリック医薬品の普及率とは一致しません。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成27年4月～令和2年3月診療分(61カ月分)。

年齢範囲…各年度末時点の年齢を0歳～999歳の範囲で分析対象としている。

年齢基準日…各年度末時点。

※薬剤数量…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省指定薬剤のうち、

☆(後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額又は薬価が低いもの)

★(後発医薬品で先発医薬品と同額又は薬価が高いもの)に該当する医薬品を除外。

※ジェネリック医薬品普及率

$\text{ジェネリック医薬品薬剤数量} / (\text{ジェネリック医薬品薬剤数量} + \text{先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量})$

第9項 健康課題にかかる目標の評価

一人ひとりが健康課題を正しく理解しよう！

主体的に
健康づくり等に
取り組もう



生活習慣病等の
発症・重症化を
抑制しよう



医療費適正化を
図ろう



令和5年度までの数値目標		達成状況				評価
項目	目標値	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
からだが健康だと思える市民の割合	70%	61.6%	60.0%	61.8%	63.6%	4
特定保健指導対象者の減少率 (平成20年度比)	25%	14.96%	-	-	-	4
がん死亡率(人口10万人対)	400	493.8	555.7	-	-	2
収縮期血圧の平均値	男性127.3 女性122.1	男性134.8 女性130.6	男性134.7 女性130.3	男性135.2 女性129.7	-	3
糖尿病有症者 (HbA1cが受診勧奨値6.1以上の人の割合)	5.8%	26.1%	24.3%	24.1%	-	3
糖尿病性腎症重症化予防指導実施完了者のうち 人工透析導入者数	0人	0人	0人	0人	-	5
ジェネリック医薬品の普及率	80%	64.9%	69.1%	72.8%	-	4

※評価区分 5: 目標に達している 4: 目標に達していないが、改善傾向にある
3: 変わらない 2: 悪化している 1: 評価できない

第10項 個別保健事業の実施状況等

健康課題	事業名	ストラクチャー (実施体制)	プロセス (実施過程)
健康管理意識の向上	健康相談	【相談員の体制】事業を実施する職員を確保した。	【相談の対応状況】随時対応したほか、イベント等で実施した。
	健康教育	【保健師の確保】事業を実施する職員を確保した。	【事業内容の工夫】地区で開催する場合、その地区の健康推進員の意見を取り入れて実施した。 【教室の周知】地区での開催の場合、健康推進員を通じて周知した。
生活習慣病等の発症・重症化予防	特定健診事業	【直営の体制整備】保健センターで実施。 【委託の管理体制】契約に基づき、委託内容の進捗を管理した。	【検査項目の上乗せの設定】クレチアニンと尿酸を上乗せ。 【受診券の工夫】令和2年度から県内で統一。 【医師会との連携】郡市医師会と連携し実施した。
	特定健診対策事業	【保健師等と専門職員の確保】 ・平成30年度に保健師を任期付き職員として確保した。 ・受診勧奨専門職員を臨時職員あるいは会計年度任用職員として雇用した。 【スキルアップ】 ・国保連合会や県北地区国保協議会主催の研修会に出席した。	【文書勧奨：文書、ちらしの内容】文書、ちらしの内容について検討し、見直した。 【訪問勧奨・電話勧奨：状況に合わせたアドバイス】対象者の受診状況等を確認し、個々の状況に合わせたアドバイスを実施した。
	事業主健診結果受領	【職員体制】事業を実施する職員を確保した。	【保健センター受診分：衛生部門との連携】健康づくり課と連携して取り組んだ。 【個人分：インセンティブの付与】結果提出した個人にインセンティブを付与した。 【個人分：事業の周知】「のしろの国保」やホームページに掲載・訪問勧奨での案内・受診勧奨通知にチラシを同封し周知。
診療検査結果情報提供	【職員体制】事業を実施する職員を確保した。	【医師会との連携】令和2年度から県医師会との集合契約。 【事業の周知】「のしろの国保」やホームページに掲載・訪問勧奨での案内・受診勧奨通知にチラシを同封し周知。かかりつけ医に文書で周知。	

※評価区分 5: 目標に達している 4: 目標に達していないが、改善傾向にある
3: 変わらない 2: 悪化している 1: 評価できない

アウトプット (事業実施量)				アウトカム (成果)				評価	事業の考察	事業の方向性
項目	年度	目標値	達成状況	項目	年度	目標値	達成状況			
実施率	H30	100%	100%	からだが健康だ と思う市民の割 合	H30	62.0%	60.0%	4	○健康相談に 随時対応して いる。	維持 ・周知方法等 について検討 する。
	R1	100%	100%		R1	64.0%	61.8%			
	R2	100%	100%		R2	66.0%	63.6%			
実施回数 (学校)	H30	2回	0回	からだが健康だ と思う市民の割 合	H30	62.0%	60.0%	4	△学校からの 実施依頼がない。 ○地区ごと に、健康推進 員等の協力を 得て実施して いる。	維持 ・関係者との 協議、学校へ の周知等を検 討する。 ・健康無関心 層への対策も 含めて検討す る。
	R1	2回	0回							
	R2	2回	-							
実施回数 (地区)	H30	各地区1回	177回 各地区1 ~2回	からだが健康だ と思う市民の割 合	R1	64.0%	61.8%	4	△学校からの 実施依頼がない。 ○地区ごと に、健康推進 員等の協力を 得て実施して いる。	維持 ・関係者との 協議、学校へ の周知等を検 討する。 ・健康無関心 層への対策も 含めて検討す る。
	R1	各地区1回	149回 各地区1 ~2回							
	R2	各地区1回	-							
通知率	H30	100%	100%	受診率	H29	60.0%	30.4%	3	○実施機関を 県内に拡充し た。	維持 ・受診機会の 拡大について 検討する。
	R1	100%	100%		H30	35.0%	31.8%			
	R2	100%	100%		R1	40.0%	31.5%			
送付した人 のうち受診 者	H30	22.8%	19.5%	受診率	H29	60.0%	30.4%	3	○過去5年間に 1回でも受診が あった人への受 診勧奨通知事業 を追加した。 ○職域別の取組 を追加した。 △受診勧奨事業 の効果が乏し い。 △40~50代で未 受診者が多い。	維持 ・受診勧奨通 知の内容、時 期等について 検討する。 ・受診未経験 者への対策も 含め、効果的 な事業になる ように見直し する。
	R1	27.8%	17.9%		H30	35.0%	31.8%			
	R2	32.8%	-		R1	40.0%	31.5%			
訪問した人 のうち受診 者	H30	16.2%	16.1%	過去3年未受診 者が受診した割 合	H30	8.5%	8.7%	3	○保健セン ター受診分 について連携が 取れている。	維持 ・事業主への 周知に努め る。
	R1	21.2%	21.9%							
	R2	26.2%	-							
電話した人 のうち受診 者	H30	16.1%	未実施	過去3年未受診 者が受診した割 合	R1	8.5%	6.9%	3	○保健セン ター受診分 について連携が 取れている。	維持 ・事業主への 周知に努め る。
	R1	21.1%	19.5%							
	R2	26.1%	-							
新規対象事 業主への同 意依頼率	H30	100%	50%	保健センター分 受領件数	H29	-	78件	3	○保健セン ター受診分 について連携が 取れている。	維持 ・事業主への 周知に努め る。
	R1	100%	100%		H30	80件	80件			
	R2	100%	-		R1	80件	82件			
個人への同 意依頼	H30	実施	実施	個人分受領件数	H29	-	27件	3	○保健セン ター受診分 について連携が 取れている。	維持 ・事業主への 周知に努め る。
	R1	実施	実施		H30	25件	36件			
	R2	実施	実施		R1	30件	31件			
通知率(当 年度未受診 者)	H30	100%	100%	受領件数	H29	-	11件	3	○実施機関を 県内に拡充し た。	維持 ・郡市医師会 やかかりつけ 医への周知に 努める。
	R1	100%	100%		H30	22件	36件			
	R2	100%	100%		R1	44件	20件			

健康課題	事業名	ストラクチャー (実施体制)	プロセス (実施過程)
生活習慣病等の発症・重症化予防	特定保健指導事業	<p>【保健師のスキルアップ】国保連合会や県北地区国保協議会主催の研修会等に参加した。</p> <p>【委託の管理体制】契約に基づき、委託内容の進捗を管理した。</p>	<p>【利用率向上対策】保健センター分は文書勧奨を実施。委託分は、委託先と打合せを実施し、文書や電話で勧奨した。</p> <p>【実施内容】健診受診当日の初回面接を一部で実施した。</p>
	健康診査助成事業	<p>【職員体制】事業を実施する職員を確保した。</p>	<p>【事業の周知方法】令和元年度までは受診券の裏面に記載。令和2年度からは受診券を送付する際にチラシを同封。当年度未受診者への文書勧奨のチラシに記載。ホームページに掲載。</p>
	健診異常値放置者受診勧奨事業	<p>【委託の管理体制】契約に基づき、委託内容の進捗を管理した。</p>	<p>【文書の内容】委託先と協議し、決定した。</p> <p>【未受診者へのフォロー】通知後、未受診者に電話勧奨を実施した。</p>
	栄養学習減塩指導	<p>【講師の確保】講師を確保した。</p>	<p>【実施内容の工夫】地区の健康推進員の協力を得て実施した。</p>

※評価区分 5：目標に達している 4：目標に達していないが、改善傾向にある
3：変わらない 2：悪化している 1：評価できない

アウトプット (事業実施量)				アウトカム (成果)				評価	事業の考察	事業の方向性	
項目	年度	目標値	達成状況	項目	年度	目標値	達成状況				
保健セン ター通知率 (動機付け 支援)	H29	100%	86.0%	実施率	H29	60.0%	22.0%	4	○特定健診受 診当日の初回 面接を一部で 実施した。	維持 ・利用勧奨の 方法等につい て検討する。	
	H30	100%	82.2%			H30	35.0%				23.0%
	R1	100%	98.1%		H30	35.0%	23.0%				
	保健セン ター通知率 (積極的支 援)	H29	100%		72.1%	R1	40.0%				28.1%
		H30	100%		84.8%						
		R1	100%		91.4%						
受診案内の 実施	H30	実施	実施	助成実績 (がん検診)	H29	-	3,884件	3	△40歳未満の 人を対象とし ている一般健 診の助成の周 知が不足して いる。 △市全体のが ん検診の受診 率が低迷して いる。	維持 ・一般健診へ の助成につい て周知する。 ・特定健診と がん検診の受 診勧奨につい て、共同での 実施を検討す る。	
					H30	3,896件	4,186件				
					R1	3,589件	3,112件				
					助成実績 (一般健診)	H29	-				27件
						H30	26件				26件
						R1	25件				19件
	R1	実施	実施	胃がん検診受診 率	H29	-	15.9%				
					H30	50.0%	15.0%				
					R1	50.0%	14.4%				
					大腸がん検診受 診率	H29	-				22.3%
						H30	50.0%				21.7%
						R1	50.0%				21.8%
	R2	実施	実施	肺がん検診受診 率	H29	-	27.4%				
					H30	50.0%	26.5%				
					R1	50.0%	26.6%				
					子宮頸がん検診 受診率	H29	-				34.8%
						H30	50.0%				35.2%
						R1	50.0%				30.9%
乳がん検診受診 率	H29	-	39.8%								
	H30	50.0%	39.6%								
	R1	50.0%	36.4%								
通知率	H30	100%	100%	異常値放置者数	H29	-	200人	5	○目標を達成 している。	維持 ・受診通知の 内容等につい て見直しす る。	
	R1	100%	100%		H30	184人	191人				
	R2	100%	100%		R1	176人	154人				
実施回数	H30	各地区1回	12回 各地区1 ～2回	からだが健康だ と思う市民の割 合	H30	62.0%	60.0%	4	○各地区で継 続的に実施で きている。	維持 ・健康無関心 層への対策も 含めて検討す る。	
	R1	各地区1回	13回 各地区1 ～2回		R1	64.0%	61.8%				
	R2	各地区1回	*		R2	66.0%	63.6%				

健康課題	事業名	ストラクチャー (実施体制)	プロセス (実施過程)
生活習慣病等の発症・重症化予防	禁煙教室	【講師の確保】講師を確保した。	【実施内容の工夫】内容について、講師と協議して実施した。
	糖尿病性腎症重症化予防事業	<p>【委託の管理体制】契約に基づき、委託内容の進捗を管理した。</p> <p>【スキルアップ】国保連合会主催の研修会等に参加した。</p>	<p>【参加案内の内容】内容について、委託先と協議し、見直した。</p> <p>【かかりつけ医、地域糖尿病予防対策推進会議との連携】かかりつけ医へ文書で事業案内、保健指導結果のかかりつけ医への報告を実施した。地域糖尿病予防対策推進会議へ資料提供及び会議への参加。</p> <p>【実施後のフォロー】翌年度にアンケート及び保健指導を実施。</p>
	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	【委託の管理体制】契約に基づき、委託内容の進捗を管理した。	<p>【文書の内容】内容について検討した。</p> <p>【未受診者へのフォロー】電話による受診勧奨を実施した。</p>

※評価区分 5:目標に達している 4:目標に達していないが、改善傾向にある
3:変わらない 2:悪化している 1:評価できない

アウトプット (事業実施量)				アウトカム (成果)				評価	事業の考察	事業の方向性
項目	年度	目標値	達成状況	項目	年度	目標値	達成状況			
実施回数	H30	年1回	2回	喫煙率	H30	18.0%	19.0%	2	○都市医師会の協力を得て実施している。	維持 ・健康無関心層への対策も含めて検討する。
	R1	年1回	1回		R1	16.0%	19.2%			
	R2	年1回	-		R2	14.0%	21.9%			
指導対象者の指導実施率	H30	20.0%	4.7%	指導実施完了者の生活習慣改善率	H30	70.0%	75.0%	3	○指導完了者の人工透析導入者はいない。 △参加者が低迷している。	維持 ・参加勧奨の効果的な手法を検討する。 ・指導完了者への継続的なフォローアップについて検討する。
					R1	70.0%	100.0%			
					R2	70.0%	-			
	R1	20.0%	3.1%	指導実施完了者の検査値改善率(HbA1c)	H30	70.0%	33.3%			
					R1	70.0%	50.0%			
					R2	70.0%	-			
	R1	20.0%	3.1%	指導実施完了者の検査値改善率(クレアチニン)	H30	70.0%	100.0%			
					R1	70.0%	-			
					R2	70.0%	-			
	R2	20.0%	2.1%	指導実施完了者の検査値改善率(尿蛋白)	H30	70.0%	100.0%			
					R1	70.0%	-			
					R2	70.0%	-			
R2	20.0%	2.1%	指導実施完了者のうち人工透析導入者数	H30	0人	0人				
				R1	0人	0人				
				R2	0人	-				
通知率	H30	100%	100%	生活習慣病治療中断者数	H29	-	73人	4	○改善傾向にある。	維持 ・勧奨通知の内容等について見直しする。
	R1	100%	100%		H30	62人	73人			
	R2	100%	100%		R1	59人	54人			

健康課題	事業名	ストラクチャー (実施体制)	プロセス (実施過程)
医療費の適正化	受診行動適正化指導事業 (重複受診、頻回受診、重複服薬)	【職員体制】 事業を実施する職員を確保した。	【保健指導の内容】 受診記録を参考に、訪問等による面談を行い、個々の実状に合わせた保健指導を実施した。
	ジェネリック医薬品差額通知事業	【職員体制】 事業を実施する職員を確保した。 【医師会、薬剤師会との連携】 国保運営協議会委員に医師会及び薬剤師会からの推薦で委嘱した。	【文書の内容】 内容について検討し、見直しした。 【回数、対象等の検討】 回数や対象等について検討した。

※評価区分 5: 目標に達している 4: 目標に達していないが、改善傾向にある
3: 変わらない 2: 悪化している 1: 評価できない

アウトプット (事業実施量)				アウトカム (成果)				評価	事業の考察	事業の方向性
項目	年度	目標値	達成状況	項目	年度	目標値	達成状況			
指導対象者の指導実施率	H30	20.0%	33.3%	指導実施完了者の受診行動適正化率(重複受診)	H30	50.0%	-	3	○保健指導実施率は向上している。 △保健指導の効果が表れていない。	維持 ・効果的な保健指導について検討する。 ・指導対象者以外にも、広く受診行動の適正化について周知する。
				R1	50.0%	-				
				R2	50.0%	-				
				指導実施完了者の受診行動適正化率(頻回受診)	H30	50.0%	100.0%			
				R1	50.0%	57.1%				
				R2	50.0%	-				
	R1	20.0%	70.0%	指導実施完了者の受診行動適正化率(重複服薬)	H30	50.0%	100.0%			
				R1	50.0%	-				
				R2	50.0%	-				
				指導実施完了者の医療費減額率(重複受診)	H30	50.0%	-			
				R1	50.0%	-				
				R2	50.0%	-				
	R2	20.0%	45.5%	指導実施完了者の医療費減額率(重複服薬)	H30	50.0%	38.1%			
				R1	50.0%	25.0%				
				R2	50.0%	-				
				指導実施完了者の医療費減額率(重複服薬)	H30	50.0%	-			
				R1	50.0%	0.0%				
				R2	50.0%	-				
重複・頻回受診者数、重複服薬者数	H30	94人	111人	R1	91人	120人				
							R2	87人	-	
普及率(数量ベース)	H30	72.0%	69.1%	4	○改善傾向にある。	維持 ・医療機関等への働きかけについて検討する。				
	R1	76.0%	72.8%							
	R2	80.0%	-							
切替率	H30	10.0%	28.4%	普及率(数量ベース)	H30	72.0%	69.1%	4	○改善傾向にある。	維持 ・医療機関等への働きかけについて検討する。
	R1	10.0%	13.3%		R1	76.0%	72.8%			
	R2	10.0%	-		R2	80.0%	-			

第1節 計画の推進に向けて

能代市では、前記の中間評価を踏まえて、引き続き一人ひとりが健康課題を正しく理解し、主体的に健康づくり等に取り組んで生活習慣病等の発症・重症化を抑制するとともに、医療費の適正化を図り、被保険者の健康寿命の延伸に向けた計画を推進してまいります。

第2期計画後半においても、状況の変化等により計画の見直しが必要になった場合は、見直しを加えていきます。また、個別の保健事業の実施状況等については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価を行った上で、必要に応じて翌年度の保健事業の実施内容等の見直しを行います。

また、第2期計画策定時に、費用対効果等から実施を見送っていた次の事業について、次期計画で再検討することとします。

健康課題	事業
課題② 生活習慣病等の 発症・重症化予防	脳梗塞発症・再発予防事業
	メンタル疾患発症予防事業
	COPD早期発見啓発事業
	薬剤併用禁忌防止事業
	ロコモティブシンドローム対策事業

第2期計画の最終年度である令和5年度では、計画の見直しを円滑に行うため、令和5年度上半期に仮評価を行い、最終評価を実施します。

第2節 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

第2期計画前半では、地域包括ケアに係る取り組みを実施していましたが、これに加えて令和3年度からは、国民健康保険保健事業のうち、高齢者の心身の特性に応じた事業について、後期高齢者医療制度の保健事業や介護予防事業へ適切な継続ができるよう、医療・介護データのデータ解析などの情報の共有、地域健康課題を整理・分析、KDBデータ等を活用してのハイリスク群・予備群等の抽出など、衛生部門、介護部門、後期高齢者医療保険担当と連携し取り組みます。



能代市国民健康保険
第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）
中間評価報告書

令和3年3月

発行 能代市市民福祉部市民保険課

〒016-8501 秋田県能代市上町1番3号

TEL 0185-89-2166 FAX 0185-89-1773